

今後の地方空港利用促進・利活用に向けた決議書

我が国は既に人口減少社会に突入しており、とりわけ地方部においては人口減少と少子高齢化が急速に進行している。こうした状況の下、地域の活力を維持し、持続的な発展を実現していくことは一層困難になることが懸念される。

この課題を克服するためには、国内外との人的・物的交流を活発化させ、交流人口・関係人口の拡大を通じて地域経済の活性化を図ることが不可欠である。その重要な結節点である地方空港は、地域住民の移動手段としてのみならず、観光振興、産業振興、企業活動の活発化、さらには地域間連携を支える重要な社会基盤であり、その機能強化と利活用促進は地域の将来にとって極めて重要な意義を有する。

以上の認識に立ち、地域経済と地域住民の暮らしを支える全国の商工会議所は、地方空港の持続的な発展と利活用促進に向け、以下のとおり決議する。

1. 地方空港間ネットワークの維持・強化への支援

地方にとって、東京・大阪など大都市圏との航空ネットワークの確保はもとより、地方空港同士を結ぶリージョナル航空路線の維持・充実は、地域間交流の促進や経済活動の活性化に不可欠である。現在、航空事業者や空港管理者等で構成される「リージョナル航空・地方空港振興協議会」が、地方航空ネットワークの維持・発展に向けた取り組みを積極的に推進している。

我々商工会議所は、その趣旨と活動に深く賛同し、地域経済界の立場から全面的に支援するとともに、地域における利用促進活動に積極的に取り組む。

2. 地域一体となった地方空港間路線の利用促進

地方空港間路線は、大都市路線と比較して需要規模が小さく、小型機による運航が中心であることから、採算性の確保が難しい状況にある。しかしながら、こうした路線は地域住民や企業活動を支える重要な交通インフラであり、その維持・強化は地域の持続的発展に不可欠である。このため、一部地域では自治体、企業、商工会議所などが連携し、利用促進や需要創出に取り組む事例も見られる。

我々商工会議所は、地方空港間路線の維持・発展を航空関係者のみの課題とするのではなく、地域の構成員として利用促進活動や需要創出に主体的に参画し、地域全体で支える取り組みを推進する。

3. 地域の魅力発信拠点としての空港機能の強化

地方空港は単なる交通施設ではなく、その地域の文化、産業、観光資源を発信する「地域のショーケース」である。地域色豊かな魅力ある空港づくりは、来訪者の満足度向上や再訪意欲の喚起につながるだけでなく、地域産品の販売促進や認知度向上を通じて地域経済の活性化にも大きく寄与する可能性を有している。

我々商工会議所は、地方空港の運営者や自治体、観光関係団体等との連携を一層強化し、地域の魅力を発信する拠点として空港機能の充実に取り組むとともに、地域産業や観光振興と一体となった地方空港の価値向上に向けた活動を推進する。

以上、地方空港の利活用促進を通じて地域経済の持続的発展と交流人口の拡大を実現するため、全国の商工会議所が一致協力して取り組むことをここに決議する。

令和 8 年 8 月 5 日
2026 地方空港サミット in 松本
全国商工会議所・参加者一同